

会 議 録

付 属 機 関 又 は 会 議 体 の 名 称	第2回 男女平等推進センター運営委員会		
事 務 局 (担 当 課)	男女平等推進センター		
開 催 日 時	平成30年6月26日(火) 午後2時～4時		
開 催 場 所	エポック10研修室2		
出 席 者	委 員	佐藤鈴代 岡田千枝子 鈴木順一 溝口元 阿部やよい 小吹文紀 堀江咲智子 野村祥子	
	事 務 局	4名	
会 議 公 開 の 可 否	(公開)・非公開・一部公開 傍聴人 0名		
非 公 開 ・ 一 部 公 開 の 場 合 は そ の 理 由			
会 議 次 第	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業報告と今後の開催予定について 2. エポック10フェスタ2018の報告について 3. 次期(第28期)運営委員の選任について 4. その他 		
審 議 経 過			
<p>【議題1】事業報告と今後の開催予定</p> <p>平成30年度男女平等推進センター4月・5月分実施報告。今後の事業予定。男女平等推進センター相談事業について報告。</p>			
委員	プレフェスタについて。集客などを含め他のセンタースクエアを使ったイベントと比べてどうだったのか。		
事務局	昨年に比べると盛況だったと思う。センタースクエアは集客が難しい場所で本当に興味を持っている方が来場する。		
委員	他の課や参加者からの反響などはどうだったのか。		
事務局	歌声喫茶の参加者から、この会はいつもどこでやっているのかという質問をいただき盛況であると感じた。LGBTの講演も含めイベントには参加者が多かった。		
委員	イベントに集客力があるのならば、イベントを増やすことも1つの方向性として考えていきたい。全体的に年齢層が高めであり、各世代を取り込む工夫も必要だと思う。		
委員	LGBTの講演会は若い方も多く今回はいろんな人が来てくれたと思う。歌声喫茶はイメージしていたより明るく、たくさんの方が参加していた。年齢層については先ほどの逆だが、オープン的なスペースだからこそ年配の方が参加できたのではないかと思っている。		
委員	参加者には男女平等推進センターの活動を宣伝することができて、これまでになく収穫があった。今回の結果を来年以降に着実に生かしていきたい。		
委員	今回の実施日は木曜と金曜だったが、金曜と土曜で行うと平日と休日で年齢層や人の入りも違ってくるのではと思う。		
事務局	5月、6月は、他の課も週末に合わせてイベントを行うため、センタースクエアの利用が大変混み合う。しかし、場所が確保できないわけではない。		
委員	区役所内でもっと周知してもらえればよかったと思う。		
事務局	事前に全職員に向けてメールでご案内はしたが、もう少し早く告知をしておくよかったかもしれない。		
委員	相談事業の課題について詳しく知りたい。		
事務局	区役所の中でDVに関する相談部署はエポック10と子育て支援課があるが、2つの部署の連携がいまひとつうまく取れていない現状で、今後、スムーズに連携できるようにグループ内で検討していく。DVに関してはエポック10が中核的な役割を担っており、DVマニュアルを作成し、年1回、関係する職員を集めて説明会を開催している。		
委員	マニュアルの内容はどのようなものか。		
事務局	2次被害を防止や早期発見などである。		

委員 セクハラ、性暴力についてはどのようになっているのか。

事務局 セクハラは職員同士や区役所内については人事課のハラスメント対策担当が行っている。今回はハラスメントの対応指針を作っているので、eラーニングとって個人がパソコンを使って研修できる仕組みがあり、全職員がeラーニングを受けることになっている。

委員 被っている業務は他にもあるのか。

事務局 DVひとつをとっても、高齢者虐待なのか、障害者虐待なのか、すみわけが難しい。

委員 この相談には「〇〇課」というのが明確でない。相談窓口でいい人に当たればいいが、たらい回しになることもある。

事務局 新庁舎ができるとき「FAQシステム」ができ、検索ワードを入れると相談窓口を教えてくれる仕組みになっているが、行政用語が多くなかなか目的のページにたどりつかないのかもしれない。

委員 エポック10は拠点があるので、理想はここに来ればなんとかなるということ。

委員 立教大学と講演などを共催しているので学生たちが登録団体として使ってもらえると、先ほど話に出ていた世代間の差がなくなり年齢層にも幅が出る。それと登録団体募集のチラシは評判がよかった。

事務局 前回、研修室の利用者を増やせないかという話をいただきチラシを作成した。ぜひこの機会に学生たちも取り込んでいきたい。

【議題2】エポック10フェスタ2018の報告について

事務局 エポック10フェスタ2018についての報告。

委員 フェスタ全体の感想として、展示では他団体の展示内容を確認するのも大事だと思った。ただ展示しているだけではもったいないので解説ツアーなどを行ってもいいのではないかと思った。また、チラシについては、チラシ裏面に各講座ごとの会場は書いてあるが、何階で実施するのかを記載してほしい。

事務局 次年度のチラシではその点に注意して作成する。

委員 昨年に比べて参加人数はどうか？

事務局 感触として、それなりに人が来ていたと感じる。

委員 今年はいろんな会場で同時にイベントがあり、区民の方から講座時間が重なる関係で受講したい講座に参加できないという意見があった。

事務局 以前にも講座が重なってしまい参加できないという意見もあり、講座が重ならないようにフェスタを実施したが、逆にダラダラになってしまった過去がある。

委員 講座が重なったため参加できなかったり、すぐに満席になる講座、また子育て系の講座は保育室がすぐに満員になっていたりしていた。対策として、例えば後で資料を渡すとか、録画して見られるというのを考えてみてはどうか。

委員 年齢層はどんな結果が出ているのか。例えばメインイベントの男尊女子ではどうか。

事務局 詳しい結果は出ていないが、仕事帰りの方もいて、若い方も多かったという印象である。

委員 ここに学生の団体が入ってくると、新しい風が吹くかもしれない。趣旨にあったサークルとか研究室とか共催を実施していればうまくつながっていく。

委員 今回のフェスタの展示については、運営委員会としてパネルを作ってください、各団体の交流を支えてくれた。最終版は展示だけだったので配布していただきたい。

事務局 運営委員会展示を冊子として配布する。

委員 運営委員会はフェスタを後ろから支えるという立場であるため、運営委員会としてプレフェスタでなにが提案できるのか考えたい。ただ展示して片づけて終わりというのではなく、プレフェスタに集まった人たちにだけでも展示内容を解説できればいいと思った。1団体の展示の案内というよりも、全体を案内する。コーディネーターがいて解説してもらっただけで理解度が全然違うと思う。来年に向けての課題としたい。

【議題3】次期（第28期）運営委員の選任について

事務局より、次期（第28期）運営委員の選任について説明。

事務局 次の実行委員会は8月28日を予定しているが、委員の募集に合わせて申込み期限である9月7日の次の週あたりに開催したい。また、11月の運営委員会については、改選後、第1回目の運営委員会が11月だと期間が空いてしまうので、10月に行いたい。

委員 10月の運営委員会は新しい委員が参加するが、まだ募集前なので日程調整できないかと思う。

事務局 募集案内に、10月運営委員会の予定を記載し、出席できることを前提に募集する。

委員長 各委員の予定を調整し、次回運営委員会は9月18日とする。改選後第1回目の運営委員会は10月23日とする。

【議題4】その他

	事務局より、運営委員会での検討課題の報告。
事務局	昨年度の運営委員会でエポック10の課題について出たもので、具体的な案があれば挙げていただきたい。また、活動してきた中で気づいた点なども伺いたい。
委員	高齢者の方が楽しく余っている時間を提供できる場所があるといい。例えば、アメリカのフロリダディズニーワールドでは腰のまがった方が、キャストとしてユニホームを着て楽しそうに道案内をされている。その他、野球場のチケット販売も高齢の方が活躍されている。
委員	男性の方はつながりをつくりにくい。社会とのつながり、学生とのつながり、地域に戻ってきて改めてつながりをつくるのが難しい。
委員	男女共同参画都市宣言というパネルも区役所に貼っているが、男女共同参画宣言に基づいてどのくらいの事業をバランスよくやっているのか。事業についても、施設利用についてもマトリックスで見ると何が抜け落ちているのかわかる。
委員	世代間の問題提起、高齢者向けの事業と子供向けの事業が分かれている。退職後の男性の社会復帰を手伝う講座などはどうか。
事務局	高齢の男性に話を聞いたことがあるが、エポック10のような講座よりは大学などで実施されている専門性の高い講座に参加する傾向がある。
委員	高齢の男性向け事業をやるとき、つながりをつけるために学習コーディネーターなどの呼びかけが必要かと思う。そうしないとすぐにバラバラになってしまう。
事務局	高齢者福祉課では学生とコラボした男性向け講座を行っている。料理を学ぶとか、退職後のグループをつくるとか、そういったことを目的とした事業である。
委員	ニーズがはっきりわからない。どういう講座だったら参加するのか、アンケートで聞くだけでもニーズがクリアになる。新規講座を企画するより高齢者福祉課でやっているセミナーのアンケートに便乗するのも1つの手段だと思う。
委員	ホームページのアクセス数、カウンター機能についてはどうか。
事務局	改修経費が発生するため、機能を追加することはできないが、広報課でデータを統計しているので年度ごとのアクセス数をお知らせすることはできる。
委員	男女平等推進センターはホームページのどこで見ることができるのか。
事務局	トップメニューの一番下の区政情報で見ることができる。
委員	ホームページのトップに「男女共同参画・人権・平和」というカテゴリーを作っていただくとアクセス数は格段に伸びると思う。
委員	今回からホームページでフェスタの申込みができたのは大きいと思う。ネットだといつでもどこでも申し込めるので便利。若い世代の参加者も増える。
委員	最後に事務局の皆さんには、委員からの提案、お願いなどを実行していただいたことを感謝する。今後も課題などがあれば運営委員会で取り上げていただきたい。
委員長	次回の運営委員会は9月18日14時からである。以上で運営委員会を終了する。

会議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月にエポック10で開催した事業について報告した。 ・エポック10フェスタ2018の報告および反省を行った。 ・次期運営委員の選任について報告した。また次回以降の運営委員会開催日について検討・決定した。 ・エポック10の事業テーマおよびホームページでの周知等について検討した。
提出資料	<p>議題1-資料1 事業報告(4月～5月)、今後の開催予定</p> <p>議題2-資料2 エポック10フェスタ2018報告について</p> <p>議題3-資料3 男女平等推進センター運営委員の改選について</p> <p>議題4-資料4 運営委員会でのご意見および今後の課題について</p>
配付物	なし